



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日
東上場会社名 株式会社カネカ
コード番号 4118

上場取引所

URL https://www.kaneka.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 一彦

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員IR・広報
(Investors & Public Relations)部長

(氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	603,048	6.8	29,135	34.8	26,068	34.7	17,736	32.0
2024年3月期第3四半期	564,728	△0.4	21,611	△21.8	19,351	△27.3	13,438	△28.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 23,144百万円(△18.6%) 2024年3月期第3四半期 28,437百万円(2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	280.67	279.81
2024年3月期第3四半期	207.04	206.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	908,623	484,478	51.0
2024年3月期	870,205	474,383	52.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 463,596百万円 2024年3月期 453,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2025年3月期	—	60.00	—		
2025年3月期(予想)				70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	4.9	40,000	22.8	36,000	23.2	25,000	7.7	396.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	66,000,000株	2024年3月期	66,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,066,397株	2024年3月期	1,851,007株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	63,193,300株	2024年3月期3Q	64,908,638株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2025年2月13日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
(4) 配当予想の修正に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(会計方針の変更)	P. 11
(セグメント情報等の注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

➤ **世界経済の状況** —世界は転換期を迎え、不透明感が強まる—

各国の政権交代が国際情勢の不安定化をもたらし、世界は転換点を迎えています。自国の利益優先により世界の連帯の希薄化が進み、戦争の行方も見通せない状況です。欧州におけるエネルギー政策の影響も含めた製造業の低迷、中国の内需不振が重石となるなか、米国による保護主義の進行や貿易摩擦の拡大が想定され、世界経済は不透明感が益々高まっています。

➤ **当社グループの業績** —増収増益、3Q営業利益は100億円台に回復—

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間（2024年4月～12月、以下3Q累計）の業績は、売上高603,048百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益29,135百万円（前年同期比34.8%増）、経常利益26,068百万円（前年同期比34.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,736百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

不透明な需要環境が続くなか、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益は前年同期に比べ、増収増益となりました。特に売上高は、四半期および3Q累計としては過去最高となりました。

2025年3月期 第3四半期 連結業績 (単位：百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減
売上高	564,728	603,048	38,320 (6.8%)
営業利益	21,611	29,135	7,524 (34.8%)
経常利益	19,351	26,068	6,716 (34.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,438	17,736	4,298 (32.0%)

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	売上高				
	2025年3月期				前年同期比
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	
Material SU	86,042	83,862	85,603	255,508	17,588 (7.4%)
Quality of Life SU	45,058	48,354	50,872	144,285	12,888 (9.8%)
Health Care SU	18,372	18,022	19,043	55,437	2,034 (3.8%)
Nutrition SU	48,674	47,137	51,275	147,087	6,004 (4.3%)
その他	234	204	290	729	△196 (△21.2%)
計	198,382	197,580	207,084	603,048	38,320 (6.8%)

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	営業利益				
	2025年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	前年同期比
Material SU	8,382	7,690	6,658	22,731	3,611 (18.9%)
Quality of Life SU	4,256	5,296	6,148	15,700	3,945 (33.6%)
Health Care SU	2,992	2,451	3,276	8,719	375 (4.5%)
Nutrition SU	3,903	2,545	3,695	10,144	1,748 (20.8%)
その他	111	66	154	332	△209 (△38.6%)
調整額	△9,369	△9,225	△9,898	△28,494	△1,948 (-)
計	10,276	8,824	10,033	29,135	7,524 (34.8%)

業績は1 Q以降、強いモメンタムが続いています。Material, QOL, Nutritionは前年同期比で大幅な増益となりました。Pharmaは4 Qへの一部出荷調整の影響が残るも出荷が始まり、Medicalが好調を継続したHealth Careは増益となりました。3 Qは全体として100億円/Q台の営業利益水準を回復しています。4 QはPharmaの販売も本格回復し、全SUで成長の勢いが強まる見通しです。

先端事業群 (MS, E&I, PV, Medical, Pharma, Supplement) へのシフトがさらに進展し、ポートフォリオ変革が着実に進んでいます。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① **Material Solutions Unit**

当ユニットは、塩ビのアジア市況の下振れが続いたものの、MOD・MSで強い競争力を発揮し、増収増益となりました。

- Vinylsは、国内で塩ビの価格改定が進みましたが、アジア市況の下振れの影響により前年同期比で減益となりました。4 Qには販売量が回復する見込みです。
- MODは、強い競争力を維持し、前年同期比で大幅な増益となりました。付加価値の高い非塩ビ用途およびMXの販売が着実に拡大しています。
- MSは、欧州を中心に全拠点で堅調な販売となり、前年同期比で増益となりました。ベルギーの生産能力増強設備も順調に寄与しています。
- Green Planetは、スターバックスコーヒージャパンで全店舗にストローが採用されるなど、大手ブランドホルダーでの採用が拡大しています。グローバルに広がるGreen Planetへの強い期待に応えるべく、大手ブランドホルダーでの大型案件採用に向けた取り組みを加速しています。

② **Quality of Life Solutions Unit**

E&Iの高収益が、当ユニットの大幅な増収増益を牽引しました。Foam、Fiberでも収益の回復が進んでいます。

- Foamは、3 Qは価格改定が進み、収益性が改善しています。
- E&Iは、ポリイミドフィルム・アクリル樹脂が高水準の販売を維持し、前年同期比で大幅な増益となりました。4 Qもスマートフォンおよび液晶TVの底堅い需要が続く見込みです。
- PVは、住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しています。壁・窓が発電するZEB用途での拡販、ペロブスカイトの研究開発の取り組みを進め、高付加価値製品のラインアップを着実に拡充してまいります。

- Fiberは、アフリカ諸国における販売地域の拡大や新製品による需要の創出に力を入れ、頭髮製品の販売が着実に回復しました。難燃ファブリック分野の市場拡大とともに事業基盤の強化を図っています。

③ Health Care Solutions Unit

Medicalの収益拡大が続き、当ユニットは増収増益となりました。4QはPharmaの販売回復を見込んでいます。

- Medicalは、カテーテル新製品の販売が大幅に拡大しています。血液浄化器・カテーテルともに順調な販売を継続しており、着実に成長軌道を進んでいます。昨年稼働した血液浄化器の北海道新プラント（苫東工場）も早々に戦力化しています。3Qに新たにイスラエルの医療機器企業を子会社化しました。脳血管治療領域での製品ポートフォリオの拡充を進め、Medical事業の飛躍的な伸長を目指します。
- Pharmaは、販売が回復途上にあります。3Qは一部で4Qへの出荷調整の影響が残り、前年同期比では減益となりましたが、4Qは低分子・バイオ医薬品ともに出荷案件が集中する見通しです。

④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Supplement・Foodsともに堅調な業績を継続し、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

- Supplementは、還元型Q10の米国での顧客在庫調整が終わり、販売が順調です。乳酸菌のグローバル市場での拡販も着実に進んでいます。
- Foodsは、高付加価値品シフトとスプレッドの改善がさらに進み、強い勢いを持続しています。「B2C」事業において、「わたしのチカラQ10ヨーグルト」などのラインナップ拡充、「Q10果実グミ」の拡販、有機乳製品の市場投入を進め、ECを活用したB2C製品の拡販ワークを一層強化しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

- 資産、負債及び純資産の状況
3Q末の総資産は、棚卸資産の増加に加え、設備投資の拡大による固定資産増加などにより前期末に対して38,418百万円増加の908,623百万円となりました。
負債については、借入金増加などにより28,322百万円増加の424,145百万円となりました。
純資産については、利益剰余金の増加や円安による為替換算調整勘定の増加などにより10,095百万円増加の484,478百万円となり、自己資本比率は51.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、欧米を中心としたインフレ圧力の緩和、インド・ASEAN諸国の堅調な成長により緩やかな成長トレンドが続く見通しですが、足元の景気動向は依然として不確実な情勢が続いています。

当社グループ業績は、4Qについても1Qから続く強いモメンタムが継続します。Medicalはカテーテル新製品のさらなる拡販を計画しています。Pharmaは低分子・バイオ医薬品の大型案件の販売増により成長軌道へ回復する見通しです。Health Care領域は着実に拡大しています。QOL領域では、Fiberは新製品の拡販やアフリカ全域への販路拡大が着実に進み、E&IはAI搭載スマホの需要増や中国での家電補助金政策などを背景に堅調な販売を継続する見通しです。Nutrition領域は、Supplementで還元型Q10が好調を持続し、Foodsの付加価値品シフトと合わせて好業績を継続する見込みです。Material領域では、アジアの塩ビ市況のボラティリティが続くなか、MOD・MSを中心に新地域・新用途への拡販やスプレッド改善など、さらなる競争力強化策に注力してまいります。

以上の状況を踏まえ、2024年5月14日公表の通期の連結業績予想については、下表の通り修正いたします。

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	790,000	38,000	34,000	24,500	388.18
今回修正予想 (B)	800,000	40,000	36,000	25,000	396.02
増減額 (B - A)	10,000	2,000	2,000	500	
増減率 (%)	1.3	5.3	5.9	2.0	
(参考) 前期連結実績 (2024年3月期)	762,302	32,579	29,222	23,220	357.90

セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	325,000	340,000	15,000 (4.6%)	28,000	30,500	2,500 (8.9%)
Quality of Life SU	187,000	185,000	△ 2,000 (△1.1%)	17,500	19,800	2,300 (13.1%)
Health Care SU	89,000	79,000	△ 10,000 (△11.2%)	16,000	14,400	△ 1,600 (△10.0%)
Nutrition SU	188,000	195,000	7,000 (3.7%)	13,000	13,800	800 (6.2%)
その他	1,000	1,000	-	500	400	△ 100 (△20.0%)
調整額	-	-	-	△ 37,000	△ 38,900	△ 1,900 (-)
計	790,000	800,000	10,000 (1.3%)	38,000	40,000	2,000 (5.3%)

(4) 配当予想の修正に関する説明

2025年3月期の1株当たりの配当金については、通期の当期純利益の予想値を上方修正したことなどを勘案し、期末配当金を前回予想（2024年5月14日公表）より増額し、70円に修正します。これに伴い、2025年3月期の年間配当金は130円となる予定です。

また、次期経営計画（『計画「3年の仕掛」2025』、2025～2027年度）の期間を対象として、財務健全性を充足する前提で、配当の維持または増配を行う累進配当を実施する方針です。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 60.00	円 銭 60.00	円 銭 120.00
今回修正予想	—	70.00	130.00
当期実績	60.00	—	—
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	55.00	55.00	110.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,969	44,482
受取手形、売掛金及び契約資産	186,371	182,566
商品及び製品	94,734	107,097
仕掛品	11,678	15,095
原材料及び貯蔵品	70,883	73,886
その他	23,122	24,685
貸倒引当金	△1,898	△1,926
流動資産合計	428,861	445,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	98,883	106,447
機械装置及び運搬具（純額）	107,975	122,039
その他（純額）	124,460	115,116
有形固定資産合計	331,319	343,604
無形固定資産		
のれん	1,859	11,167
その他	18,973	19,579
無形固定資産合計	20,832	30,746
投資その他の資産		
投資有価証券	70,150	69,276
その他	19,331	19,392
貸倒引当金	△290	△283
投資その他の資産合計	89,191	88,385
固定資産合計	441,344	462,736
資産合計	870,205	908,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,212	106,062
短期借入金	116,532	151,289
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払法人税等	4,963	3,965
引当金	123	3
その他	60,833	60,249
流動負債合計	291,666	321,570
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	40,391	38,659
引当金	2,154	1,719
退職給付に係る負債	12,585	11,812
その他	34,023	35,382
固定負債合計	104,156	102,574
負債合計	395,822	424,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	29,173	29,539
利益剰余金	331,933	342,347
自己株式	△6,797	△11,724
株主資本合計	387,355	393,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,632	32,225
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	22,037	27,159
退職給付に係る調整累計額	11,438	11,002
その他の包括利益累計額合計	66,107	70,387
新株予約権	648	658
非支配株主持分	20,271	20,223
純資産合計	474,383	484,478
負債純資産合計	870,205	908,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	564,728	603,048
売上原価	416,302	435,931
売上総利益	148,426	167,117
販売費及び一般管理費	126,814	137,981
営業利益	21,611	29,135
営業外収益		
受取配当金	1,694	1,834
為替差益	930	966
持分法による投資利益	136	117
その他	897	996
営業外収益合計	3,659	3,914
営業外費用		
支払利息	2,476	3,009
固定資産除却損	1,191	2,152
その他	2,250	1,819
営業外費用合計	5,918	6,981
経常利益	19,351	26,068
特別利益		
投資有価証券売却益	2,443	2,365
事業譲渡益	520	-
特別利益合計	2,964	2,365
特別損失		
災害による損失	-	614
特別損失合計	-	614
税金等調整前四半期純利益	22,316	27,819
法人税、住民税及び事業税	6,335	7,141
法人税等調整額	1,373	1,752
法人税等合計	7,708	8,893
四半期純利益	14,607	18,925
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,168	1,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,438	17,736

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	14,607	18,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,027	△481
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	7,069	5,137
退職給付に係る調整額	△270	△435
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	13,829	4,218
四半期包括利益	28,437	23,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,782	22,016
非支配株主に係る四半期包括利益	1,654	1,127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	237,919	131,397	53,403	141,082	563,802	925	564,728	—	564,728
セグメント間の 内部売上高又は振替高	176	30	—	30	237	855	1,093	△1,093	—
計	238,095	131,427	53,403	141,113	564,040	1,781	565,821	△1,093	564,728
セグメント利益	19,119	11,754	8,344	8,395	47,614	541	48,156	△26,545	21,611

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,614
「その他」の区分の利益	541
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△26,644
その他の調整額	97
四半期連結損益計算書の営業利益	21,611

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	255,508	144,285	55,437	147,087	602,319	729	603,048	—	603,048
セグメント間の 内部売上高又は振替高	163	53	193	38	449	942	1,392	△1,392	—
計	255,671	144,339	55,631	147,126	602,768	1,672	604,441	△1,392	603,048
セグメント利益	22,731	15,700	8,719	10,144	57,296	332	57,629	△28,494	29,135

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	57,296
「その他」の区分の利益	332
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△28,542
その他の調整額	48
四半期連結損益計算書の営業利益	29,135

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	30,334百万円	32,542百万円
のれんの償却額	501百万円	544百万円